重症化リスクを有する軽症～中等症Ⅰの COVID-19患者への治療薬の特徴　＊当院非採用薬含む

	中和抗体	抗ウイルス薬			
商品名	エバシェルド®（非採用）	ベクルリー®	ラゲブリオ®	パキロビッド®	ゾコーバ®（非採用）
成分名	チキサゲビマブ/シルガビマブ	レムデシビル	モルヌピラビル	ニルマトレルビル/リトナビル	エンシトレルビル フマル酸
投与経路	筋肉注射	点滴静注	内服		
投与期間	各1回	3日間（軽症）※中等症Ⅰは5日間	5日間		
治療対象患者	重症化因子を有する軽症～中等症Ⅰ	重症化因子を有する軽症	重症化因子を有する軽症～中等症Ⅰ	重症化因子を有する軽症～中等症Ⅰ	高熱または咳嗽・咽頭痛等の症状が強いもの
発症後使用までの推奨日数	7日以内	7日以内	5日以内	5日以内	72時間
投与量	それぞれ300mgを単回	初日200mg、以降100mgを1日1回	800mgを1日2回	300/100mgを1日2回	初回375mg、以降125mgを1日1回
対象年齢など	12歳以上、40kg以上	12歳以上、40kg以上	18歳以上	12歳以上、40kg以上	12歳以上
腎障害時の調整	不要	不要 ・腎障害時注意（添加物の尿細管への蓄積により腎機障害悪化の恐れ） ・eGFR<30mL/min/1.73m^{2}は投与推奨しない ※新生児はCre≧1mg/dL	不要	eGFR　30～60 mL/min →150/100mgに減量 eGFR<30mL/min →投与非推奨	eGFR<30mL/min/1.73m2 臨床試験実施ないため、治療の有益性が上回る場合にのみ投与
妊婦/授乳婦への投与	可	可	禁忌（服用中・服用後4日間の避妊推奨）	可	禁忌（服用中・服用後14日間の避妊推奨）
omicron株への有効	△（発症抑制に代替薬なし）	○	○	○	○
入院or死亡の相対リスク減少率	50.5% （曝露前投与の発症リスク76.7%減少）	87%	30%	89%	データなし （症状消失まで24時間短縮）
注意を要する副作用	infusion reaction	infusion reaction 肝腎障害、徐脈	下痢、悪心、頭痛	味覚障害、下痢、高血圧、筋肉痛	HDL減少、TG増加、頭痛、下痢、悪心
同意書の有無	不要	不要		必要	
薬価（1日分として）	（一般流通なし）	61,997円/1瓶（2日目以降）	6515.6/2錠	19805.5/シート	7407.4円/1錠 （2日目以降）
注意点	発症抑制における投与対象； ・新型コロナワクチンの接種が推奨されない者 ・免疫機能低下などのよりワクチン接種で十分な免疫応答が得られない可能性がある者	ALTが基準範囲上限の5倍以上投与しないことが望ましい （肝機能障害悪化の恐れ）	・動物実験で胎仔毒性が報告されており、妊娠可能な女性には本剤投与中及び最終投与4日間において避妊が必要。	・併用禁忌薬多い ・コルヒチン投与患者は注意（腎機能または肝機能障害のある患者は禁忌。血中濃度上昇による中毒で死亡例あり）	・併用禁忌薬多い ・コルヒチン投与患者は注意（腎機能または肝機能障害のある患者は禁忌。血中濃度上昇による中毒で死亡例あり）